

4月 APRIL

15日	知事特別表彰 (児童生徒等特別表彰:興南高校) 知事上京(~17日まで)
19日	沖縄県産業・雇用拡大県民運動推進本部会議
21日	沖縄経済同友会第31回通常総会・懇親会
23日	表敬 那覇市長 翁長雄志氏 沖縄振興審議会
24日	沖縄離島共同市場「島人ぬ宝プラザ」 あしびなー店オープン記念式典
25日	米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設 に反対し、国外・県外移設を求める県民大会 表敬 沖縄気象台長 栗原弘一氏
26日	表敬 観光庁長官 溝畑宏氏 表敬 NPO法人MESHサポート理事長 小濱正博氏 表敬 公明党代表 山口那津男氏
27日	表敬 (財)ゆいまーる財団理事長 橋本晃和氏、副理事長 高良倉吉氏
28日	平成22年度県・市町村行政連絡会議
29日	第81回沖縄県メーデー中央式典 赤十字社社費贈呈式
30日	美ら島沖縄総体2010募金及び国際交流・人材 育成財団への寄付金贈呈式 贈呈者:(株)サン エー 代表取締役社長 上地哲誠氏

5月 MAY

4日	面談 総理大臣 鳩山由紀夫氏
6日	要請 沖縄県市議会議長会 会長 金城徹氏 要請 沖縄県がん患者会連合会
7日	平成22年春の叙勲伝達式 九州地区左官業組合連合会創立50周年 記念式典
9日	第93回春の全島闘牛大会
12日	課長級研修における知事講話
14日	表敬 駐福岡大韓民国総領事 チョ ジョウウン氏 表敬 沖縄県立博物館・美術館館長 牧野浩隆氏



4月・5月  
の動き

# 県政フラッシュ

## 4/25 米軍普天間飛行場移設問題 県民大会に約9万人が参加



「米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外・県外移設を求める県民大会」(主催:同実行委員会)が読谷村運動広場で開催され、約9万人(主催者発表)が参加した。大会には、県内の市町村長、市町村議会議長、国会議員、県議会議員なども参加した。大会であいさつする仲井真知事。大会では、共同代表を務めた翁長那覇市長をはじめ、宜野湾市の伊波市長らがあいさつや意見表明を行った後、大会決議・スローガンなどを採択した。大会に参加した仲井真知事は、あいさつの中で、1日も早い普天間飛行場の危険性除去と県内の過重な基地負担の軽減を求めるとともに、沖縄の基地問題について「全国の皆さんにも沖縄の基地負担軽減のために手を差し伸べていただきたい」と訴えた。

## 5/4 鳩山総理大臣が来県 仲井真知事と米軍普天間飛行場の移設問題 について意見交換



就任後初めて来県した鳩山由紀夫総理大臣は県庁で仲井真知事ら県幹部と会談し、米軍普天間飛行場の移設問題などについて意見交換した。会談で仲井真知事は「4月25日に県民大会が開催されるなど、県外移設を期待する県民の声が高まっている。それを真摯に受け止め、普天間飛行場の危険性の除去に取り組んでいただきたい」と訴えたほか、県内の過重な基地負担の軽減などを鳩山総理大臣に要請した。これに対し、鳩山総理大臣は「今日は県民の皆様方のお気持ちを受け止めてさせて頂く機会にしたい。普天間基地すべてを県外にということは、なかなか現実問題として難しい」と述べた。

## 4/15 興南高校野球部、 児童生徒等知事特別表彰



沖縄県児童生徒等知事特別表彰が県庁1階県民ホールで行われ、第82回選抜高等学校野球大会において初優勝を果たした興南高等学校野球部に対して、仲井真知事から表彰状と記念品が手渡された。同部を代表して表彰状を受け取った我如古盛次主将は「県民の熱い声援のおかげで、紫紺の優勝旗を沖縄に持ち帰ることができ、感謝しています。この賞に恥じないよう、これからも精進していきます」とあいさつし、仲井真知事は「多くの県民に大きな喜びと感動を与えてくれた」とその栄誉をたたえた。会場には多くの県民が詰めかけ、大きな拍手を贈るなど選手を祝福した。

## 4/19 みんなでグッジョブ運動推進本部会議で 「グッジョブ!」の決意も新たに



沖縄県産業・雇用拡大県民運動(みんなでグッジョブ運動)推進本部会議が沖縄産業支援センターで開催された。同推進本部会議の本部長を務める仲井真知事は「全国的にもこの1、2年の間で、雇用問題の解決に向けた政策が数多く実施されており、これまで沖縄独自でやってきたものと併せてさまざまな施策が可能となる体制ができています。これからも雇用の拡大について一生懸命やっていきたい」とあいさつし、グッジョブの掛け声の下、雇用情勢の改善に県民一丸となって取り組む姿勢をアピールした。

- 2 県政フラッシュ
- 4 特集1 DV(ドメスティックバイオレンス)を許さない社会をつくらう!
- 6 特集2 ぐんぐん育て! 食べるちから!
- 8 特集3 中小企業の資金繰りを支援します
- 10 比べてわかるみんなのシゴト白書 農業のシゴト
- 12 県のうごき1 沖縄県生活環境保全条例
- 13 県のうごき2 住宅手当緊急特別措置事業
- 14 情報ひろば お知らせ
- 16 つながる広がる人・モノ・文化 地域物語 糸満のまちづくり

### 沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

\*  
沖縄県広報雑誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課ホームページでご覧になれます。

沖縄県知事公室広報課  
TEL.098-866-2020  
<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

### 沖縄の人口 世帯の動き





# 食育を進める活動の輪が広がっています



栄養教諭の取り組み  
(授業における「食に関する指導」)



地域:食生活改善推進員の取り組み  
(おやこの食育教室)



地域:沖縄県栄養士会の取り組み  
(親子料理教室)



ボランティア:フードバンクの取り組み  
(稲作農業体験)



生産者:生産者(JAおきなわ)の取り組み  
(JAファーマーズでの「食育の日」アピールの様子)



地域:コープおきなわの取り組み  
(講演会「豚一頭のいのちを食べる」)

# できることから食育をやってみよう!

## 食育をすすめる! 10のポイント!

- ①食事を楽しみましょう
- ②1日の食事のリズムから、健やかな生活リズムを
- ③主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを
- ④ごはんなどの穀類をしっかり
- ⑤野菜・果物、牛乳・乳製品、豆類、魚なども組み合わせ
- ⑥食塩や脂肪は減らしましょう
- ⑦適正体重を知り、日々の活動に見合った食事を
- ⑧食文化や地域の産物を活かし、ときには新しい料理も
- ⑨調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なく
- ⑩自分の食生活を見直してみましょう

お問い合わせ ●県国保・健康増進課 TEL:098-866-2209 FAX:098-866-2289

# ぐんぐん育て! 食べるちから!

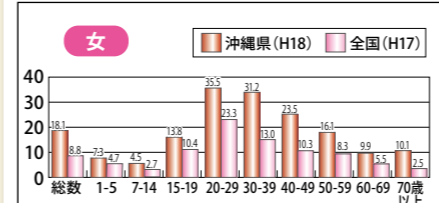
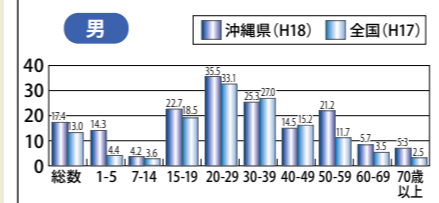
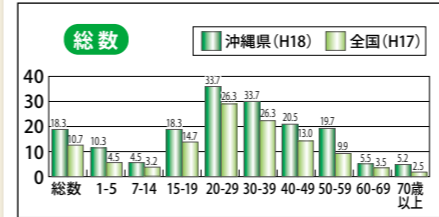
「食育」とは、健全な食生活を通じて、豊かな人間性や生きる力を育むことです。「食」は命の源であり、生きていくためには欠かせないものです。あらためて「食」について考えてみませんか。

沖縄県は、琉球王国の時代から、中国や東南アジア諸国と積極的に交流を行い、それらの国々の優れた技術や思想を取り入れながら独自の食文化を育んできました。県民の長寿を支えてきた背景には、温暖で暮らしやすい気候もさることながら、我々の先人が知恵と工夫により作り上げてきた伝統的食文化も大きな要因です。しかし、近年の食を取り巻く環境は

### 1.朝食の状況

朝食の欠食率は、男性の20歳代と女性の20~30歳代で3割強となっている。

不規則な食生活「朝食の欠食率」

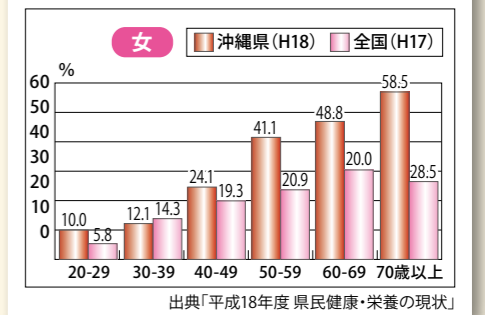
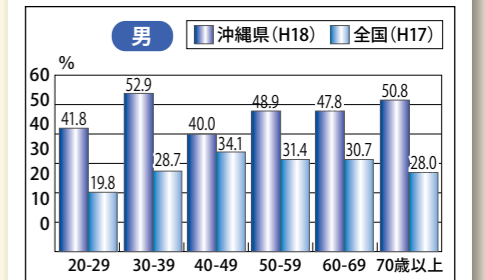


出典「平成18年度 県民健康・栄養の現状」

### 2.肥満の状況

男性の肥満者の割合は、4~5割となっており、すべての年齢階級で全国より高い。女性は、40歳代から肥満者の割合が高くなり、50歳代以降では4~5割となっている。一方で20~30歳代の1割強が低体重(やせ)となっている。

生活習慣病の増加「肥満の状況」



出典「平成18年度 県民健康・栄養の現状」

「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身につけていくためには、何よりも『食』が重要である。今、改めて、食育を、生きる上での基本として、知育、徳育および体育の基礎となるべきものと位置づけるとともに、さまざまな経験を通じて『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが求められている」

### 食育ってどんなことをやるの?

沖縄県では、家庭、学校、地域などさまざまな場所での「食育」に取り組んでいます。

### 食育基本法では「食育」を次のように説明しています

「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身につけていくためには、何よりも『食』が重要である。今、改めて、食育を、生きる上での基本として、知育、徳育および体育の基礎となるべきものと位置づけるとともに、さまざまな経験を通じて『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが求められている」

「家庭でおこなう」食育  
早寝・早起きをすること、朝食をちゃんととること、子どもの頃から健やかな生活のリズムを身につけることが大切です。また、旬の食材を

「地域で育てる」食育  
地域で「食育」に取り組むためには、ボランティア団体、生産者や外食産業などの協力が欠かせません。地域に伝わる食文化に触れる機会を提供し、食への感謝の気持ちをもち、体験活動、生産者と消費者の顔の見える関係づくりなど、地域での「食育」をすすめています。

「学校で学ぶ」食育  
学校、保育所などでは、栄養教諭などの食や栄養の専門家から、食べるの意味や、食生活リズムの大切さなどの「食」についての基本的な知識を学びます。

また、学校菜園や農林漁業体験、市場産物を活用した給食などを通して、食の大切さや楽しさも学びます。つかった食事、栄養バランスのよい食事や家族で楽しく食事をとることを勧めます。食事づくりのお手伝いをさせるなど、食生活の基本を身につける第一歩は家庭からです。

沖縄県融資制度における資金別一覧表

資金名	融資条件等	融資対象	融資限度額 (単位 万円)	融資期間 (据置期間)	融資利率 (固定) %	保証料率 %	融資斡旋・認定等 申込先	
事業歴が1年以上の事業者	短期運転	一般貸付	短期的な運転資金を必要とする中小企業者	運転のみ1,000	1年	2.30	0.45~1.50	琉球銀行 沖縄銀行 沖縄海邦銀行 コザ信用金庫 商工組合中央金庫
		売掛債権担保貸付	他の事業者等に売掛債権を有する中小企業者	運転のみ3,000			0.43	
	業小対規模企	一般貸付	従業員20人以下の企業 (商業・サービス業は5人以下)	運転・設備併せて1,250	運・5年(6ヵ月) 設・7年(1年)	2.55	0.45~1.45	商工会 商工会議所 市町村商工担当課
		特別小口貸付	中小企業信用保険法に規定する特別小口保険 該当者に対する無担保無保証人制度				2.35	
	小口零細企業	従業員20人以下の企業で、既存の保証協会の保証付融資残高との合計が1,250万円以下の小規模企業者(商業・サービス業は5人以下)	運転・設備併せて既存の保証協会の保証付き融資残高との合計で1,250	運・5年(6ヵ月) 設・7年(1年)	2.35	0.50~1.75	琉球銀行 沖縄銀行 沖縄海邦銀行 コザ信用金庫	
	経営振興	経営の近代化、合理化を図る中小企業者、協同組合等	運転・設備併せて8,000 (運転 3,000) (設備 5,000)	運・5年(6ヵ月) 設・7年(1年)	2.60	0.45~1.50	琉球銀行 沖縄銀行 沖縄海邦銀行 コザ信用金庫 商工組合中央金庫	
	新事業分野進出	事業転換や多角化により新たな事業分野に進出する中小企業者、協同組合等	・事業転換の場合 運転・設備併せて10,000 (運転3,000、設備7,000) ・多角化の場合 運転・設備併せて7,000 (運転2,000、設備5,000)	運・7年(1年) 設・10年(1年)	2.45	0.45~1.40	県産業振興公社 商工会 商工会議所	
	雇用創出促進	事業拡大や多角化計画に基づき、新たに常時使用する従業員を1人以上雇い入れようとする中小企業者、協同組合等	運転・設備併せて8,000 (運転 3,000) (設備 5,000)	運・7年(1年) 設・10年(1年)	2.45	0.45~1.45	商工会 商工会議所	
	組織強化育成	一般貸付	商工業関係組合および構成企業	1組合あたり 共同事業資金 5,000 転貸資金 30,000 (※1転貸先 3,000)	運・5年(6ヵ月) 設・7年(1年)	2.15	0.45~1.45	県中小企業団体中央会
		緊急貸付	売上の減少等により資金繰りが厳しくなっている商工業関係組合および構成企業	1組合あたり3,000 ※転貸資金は一般貸付のみ	運・5年(6ヵ月)		0.55	
	観光リゾート振興		県内において観光関連の事業を営み地域の観光の振興に寄与する中小企業・協同組合等	運転・設備併せて15,000 (運転 5,000) (設備 10,000)	運・7年(1年) 設・10年(1年)	2.45	0.45~1.40	商工会 商工会議所
	中小企業セーフティネット		売上の減少等により資金繰りが厳しくなっている中小企業者、協同組合等	運転のみ2,000	5年(1年) 緊急保証適用については、 10年(2年) ※平成22年度末まで	2.30~2.50	0.45~1.40 (緊急保証適用の場合、0.55)	琉球銀行 沖縄銀行 沖縄海邦銀行 コザ信用金庫 商工組合中央金庫 市町村商工担当課
	中小企業再生支援		沖縄県中小企業再生支援協議会の支援を受け再生計画を策定した中小企業者、協同組合等	運転・設備併せて8,000	運転・設備 10年(1年)		0.45~1.40 (経営安定関連保証適用の場合、0.55)	県中小企業再生支援協議会
	原油・原材料高騰対策支援 ※平成22年度末まで		原油・原材料等の仕入れ価格の高騰の影響を受け、資金繰りが厳しくなっている小規模企業者	運転のみ1,000	7年(1年)	2.20	0.45	商工会 商工会議所
	産業振興	オキナワ型産業振興貸付	県内において、地域特性を生かした比較優位性のある産業「オキナワ型産業」を営む中小企業者、協同組合等	運転・設備併せて10,000 (運転 5,000) (設備 5,000)	運・5年(6ヵ月) 設・7年(1年)	2.40	0.45~1.40	琉球銀行 沖縄銀行 沖縄海邦銀行 コザ信用金庫 商工組合中央金庫
企業立地推進貸付		自由貿易地域、情報通信産業特別地区等において、工場、事業所等を設置しようとする中小企業者、協同組合等	運転・設備併せて25,000 (運転 10,000)	運・10年(1年) 設・15年(3年)	2.50	0.45~1.40	県経営金融課	
ベンチャー支援		ベンチャービジネスを展開する中小企業者、協同組合等	運転・設備併せて3,000	運・5年(6ヵ月) 設・7年(1年)	2.40	0.45~1.40	県新産業振興課 県商工振興課 沖縄総合事務局地域経済課 県経営金融課	
創業者支援		独立・開業を行う者または開業後1年未満の事業者	運転・設備併せて1,000	運転・設備 7年(1年)	2.50	0.45~1.35 (創業等関連保証適用は、0.85)	県産業振興公社 県商工会連合会 商工会 商工会議所	

※1 融資条件等については、年度途中で変更する場合があります。  
 ※2 保証料率は、資金の種類および融資対象者の経営状況等の情報に基づき決定(詳細は沖縄県信用保証協会経営支援課までお問い合わせください)。

お問い合わせ

**制度について** 沖縄県観光商工部経営金融課 TEL (098) 866-2343

**保証について** 沖縄県信用保証協会経営支援課 TEL (098) 863-5300

**融資斡旋・認定等について** 上記表の「融資斡旋・認定等申込先」まで



県融資制度を活用して、事業の円滑化を図ろう

沖縄県融資制度

中小企業の  
資金繰りを  
支援します

■制度の概要

県融資制度は、県内の中小企業者、協同組合等向けの融資制度であり、県、金融機関、県信用保証協会等の関係機関が一体となって中小企業の事業活動に必要な資金を融資することで資金調達の円滑化を図り、県内中小企業の振興に寄与することを目的としています。

現在、融資の目的に応じて短期運転資金、小規模企業対策資金など十四資金があります。

融資の対象は、県内において、一年以上同一事業を営む中小企業など資金によって各々その要件が定められています。

■融資期間の延長

平成二十一年度限りとされていた緊急保証制度が、平成二十二年二月十五日から新たに景気対応緊急保証制度として改正され、対象業種の拡大等の条件緩和とともに、実施期間も平成二十二年年度末まで延長されることとなりました。

これを受け、県は、中小企業セーフティネット資金の融資対象のうち、景気対応緊急保証制度利用によるものについては、従来の融資期間を五年から十年に延長します。

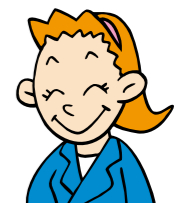
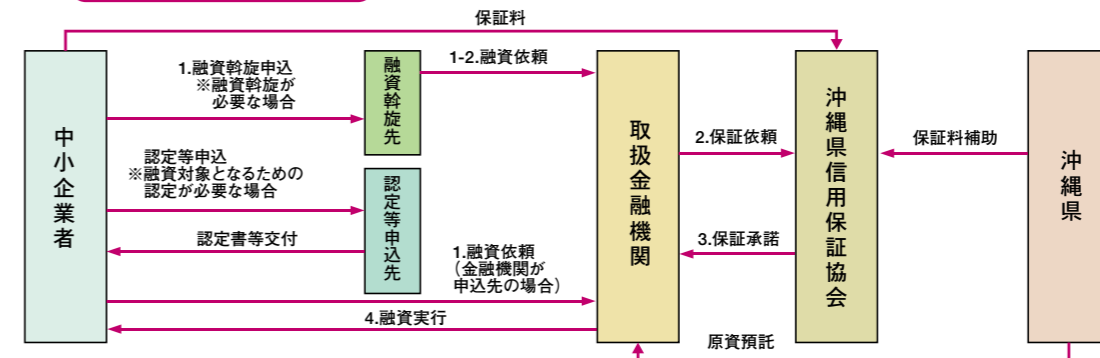
※融資据置期間は、一年から二年に延長します。

■制度の特徴

県融資制度は、長期・固定・低利の資金を提供することにも、中小企業者のため、県信用保証協会の債務保証を付け、金融機関からの融資の円滑化を図っています。

また、中小企業者の負担軽減のため県が保証協会へ保証料補助を行うことで、中小企業者に対する保証料率の低減を図っています。

沖縄県融資制度の流れ



## 働くあなたを応援します!

### 平成22年度労働大学講座および「勤労青少年の日」記念講演会

広く一般県民が労働問題に関する知識と理解を深めることができるよう、下記のとおり講演会を開催します。詳細は追って雇用労政課ホームページに掲載しますので、ぜひご確認ください。

- 日時: 7月27日(火)午後1時30分~午後4時
- 会場: 沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザ
- 講師: 青山 喜佐子氏(人材育成コンサルタント・社会保険労務士事務所オオノオフィス代表)
- 松野 豊氏(沖縄産業保健推進センター副所長)
- 定員 100名 どなたでも参加できます
- 入場無料
- ◆問合せ先 県雇用労政課 ☎098-866-2366

### 県内・県外企業合同求人説明会

新規高等学校卒業予定者の就職促進のため、県内・県外企業の採用担当者を招いて、求人説明会を開催します。

詳細は雇用労政課ホームページにて掲載しますので、今春卒業予定の高校生の皆様およびその保護者の皆様は、ぜひご確認ください。

- 開催日時: 7月14日(水) 午後1時~午後5時
- 開催場所: 沖縄コンベンションセンター展示場

### 平成22年度緊急委託訓練

専門学校等を活用した一般求職者、若年者、母子家庭の母等及び障害者向けのさまざまな職業訓練を実施します。

- お問い合わせは
- ・県雇用労政課能力開発班 ☎: 098-866-2366
- ・浦添職業能力開発校 ☎: 098-879-2560
- ・具志川職業能力開発校 ☎: 098-973-6680
- もしくは、お近くのハローワークまで

### 「沖縄まんが物語」始動!!

「沖縄まんが物語」ホームページでは、沖縄をテーマとした歴史・文化・産業・工芸・特産品、民話、仕事などを、漫画で楽しくわかりやすく紹介しています。

この事業は、緊急雇用創出事業の一環として実施され、雇用の創出とともに、漫画という新たな産業の開拓と沖縄の豊かな地域資源のPRを展開しています。ぜひ一度ご覧ください。

(URL) <http://okinawa-manga.com/>

### 一日のタイムスケジュール

- 8:00 出勤  
清掃・飲み物の準備  
荷受  
朝礼(月曜日のみ)
- 9:00~17:00  
担当する農家を訪問  
(平均4~5軒)
- 17:00 事務所にて日誌などを記入
- 18:00 業務終了

農家の高齢化が進む中、若手の就業サポートも心がけたい。いずれは、自分の畑で花を育てたいですね。

農林高校時代の担任のおかげで農業の楽しさにめざめ、農業大学へ進学。花を専門に学び、卒業後は二年契約で農業試験場に勤務。ウコンやイモなどを栽培する中で「農業をやりたい」と思いましたが畑がなく、就農できませんでした。その頃、先輩に

### 仕事のツボ アドバイス

男性が多い職種ですが、女性の活躍も増えています。農林高校などで専門知識を身につけていると有利ですし、毒物劇物取扱責任者の資格は学生のうちに取った方がいいです。JA独自の営農指導者資格試験があり、私も今年受験する予定です。



### 一日のタイムスケジュール

- 7:40 畑に出勤  
天気チェック・日誌記入  
(作業の段取りを確認)
- 8:30~17:00  
畑や苗床にて作業  
(時期に応じて芽摘み・水やり・出荷・苗作りなど)
- 17:00 作業内容を日誌に記入
- 18:00 業務終了

高校卒業後、近所の大きな菊農家で一年間働きました。この時に、初めて農家を仕事として意識しました。その後、菊農家の父の勧めもあり就農。最初は機械などを揃えるのにお金がかかりましたが、自分は父の設備が揃っていたので、とても恵ま

ツイです。出荷は十一月から四月まで。シーズン中は夜八時頃まで作業を行い、夏の間は畑を休ませて土作りや苗作りをします。わからないことは父に教わったり、JAの営農指導者が役立つ情報を教えてくれる。どちらも頼れる存在です。

目標は、早く一人前になって規模を拡大すること。まだまだこれからです!

### 仕事のツボ アドバイス

農家は特に資格は要りませんが、農業の希釈や出荷量の計算などで数学が必要。基本的な勉強はきちんとした方がいいです。働き手を募集している農家は結構あるので、まずは体験してみてください。仕事として本気で考えるきっかけになるはず。



自分で農業をやりたいと思ったことがきっかけ

JAを紹介され、「畑がなくとも農業に関われる」と思い応募。最初はパートでしたが、四年目に職員に昇格。「本気がかんばろう」と決意しました。

中部全地区の洋ラン、中部三地区の花きを担当。病気への対処、新しい

農家とのコミュニケーションが重要

### 営農指導者



JAおきなわ 農業事業本部 中部地区営農振興センター 農産部花き指導課 営農指導者 知念由里香さん(勤続5年目・25歳)

営農指導者と花き園芸農家

今回は沖縄の農業を支える若手二人が主役。互いに協力する立場でより良い農業をめざしているようです。

### 花き園芸農家



菊栽培農家 新垣淳悟さん(就農1年目・22歳)

僕のような二代目や若い農家も少しずつ増えてます!

高校卒業後、近所の大きな菊農家で一年間働きました。この時に、初めて農家を仕事として意識しました。その後、菊農家の父の勧めもあり就農。最初は機械などを揃えるのにお金がかかりませんが、自分は父の設備が揃っていたので、とても恵ま

父を先輩として尊敬するようになった

現在は五品種を栽培。畑を耕したり、芽摘みや水やり、追肥など、菊は野菜より手間がかかり、足腰もキ

れていました。昨年九月から自分で畑を借りて菊栽培をしています。実際に農業をやってみると楽しいですね。

その他の「農業のシゴト」

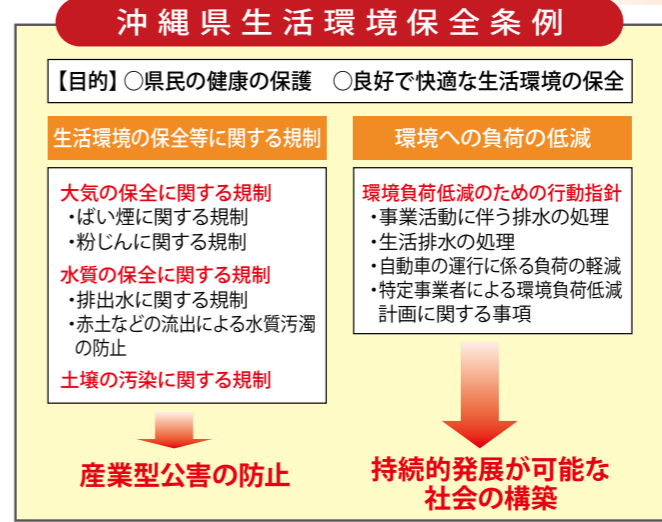
- ・酪農家
- ・養蜂家
- ・造園業
- ・農業技術者
- ・バイオ技術者

# みんなのチャレンジ白書

仕事や職場を決めた理由、やりがいやターニングポイントなど、同じジャンルで職種が違う二人の先輩が仕事の本音を語ります。みんな迷って悩んで今がある! 就活世代に役立つヒントがいっぱいです。

# 沖縄県生活環境保全条例

沖縄県生活環境保全条例は、平成二十一年十月に施行され、県では事業者や県民に対し、環境への負荷低減に向けた取り組みを呼びかけています。



## 条例制定の経緯

これまで、沖縄県公害防止条例により工場や事業場などから排出されるばい煙や粉じん、工場排水等を規制し、環境の保全に取り組んできました。

しかし、近年は、家庭から排出される生活排水による汚濁負荷の問題が増え、公害問題の態様が産業型から都市生活型へと変化しています。

そこで、県は、これまでの公害防止条例を全面的に見直し、県民の健康の保護と良好で快適な生活環境の保全を目的とした沖縄県生活環境保全条例を新たに制定しました。

## 条例の概要

生活環境保全条例では、公害防止条例で定められていたばい煙や粉じん、汚水排水施設の届出や排出基準などを整理し、違反者に対する罰則規定が強化されました。また、土壌の汚染防止に関する措置として有害物質などの適正管理を義務づけるとともに、環境負荷低減のための行動指針が新たに規定されました。

## 環境負荷低減のための主な行動指針

- ①事業者が取り組む行動
  - 下水道が整備された地区では、速やかに下水道に接続すること
  - 条例の排出基準適用事業者などは排出基準を守り、さらに水質汚濁負荷の低減に努めること
  - グリーン商品や省エネ性能の高いO A機器、設備を購入すること
  - 従業員に地球温暖化対策を呼びかけ、エコオフィス活動を推進すること
  - 廃棄物を抑制し、リサイクルを推進すること
- ②県民が取り組む行動
  - 洗濯などに使用する洗剤は、適正な量を使用しましょう
  - マイバックの利用や過剰包装を断るなどゴミの発生抑制を心がけましょう
  - 県産品野菜などの利用による地産地消に努め、商品の輸送に伴う温室効果ガスの排出抑制に協力しましょう
  - エコドライブを心がけ、燃費の改善に取り組みましょう
- ③特定事業者が取り組む行動
  - 事業活動に伴う環境の負荷低減を図るための環境負荷低減計画の策定に努めること
  - 関連する事業者に対し、環境負荷低減のための行動に沿った事業活動に努めるよう求めること

## 今後の取り組み

県では公害の防止のため、引き続き事業者に対して排出規制の取り組みの強化を行います。排出基準に適合しない事業者に対しては、施設構造や処理方法について計画の変更や必要な指導、助言・勧告など改善命令を行って排出基準の遵守を図ります。また、ばい煙、粉じん、汚水等発生施設が故障などで事故が発生し、人の健康や生活環境に被害をおよぼすおそれがあるときは、すみやかに汚染状況調査を行い、排出防止のための応急措置と復旧を図ります。

現在、河川・海域における汚濁負荷量の七割近くを生活排水が占めています。環境負荷低減のための行動を広く県民に周知を図り、県全域における生活排水対策を推進する必要があります。大気汚染や水質汚濁など環境問題に対応するためには、県民一人ひとりが汚濁負荷の排出者であるという考えに立ち、環境への負荷の低減のための行動指針を着実に実行していかなければなりません。事業者、県民の皆さまのご理解・ご協力をより強くお願いします。

## 条例の詳細は…

環境保全課ホームページ  
<http://www.pref.okinawa.jp/kankyo/uhozen/okinawa/uhozen/index.html>

沖縄県生活環境保全条例 検索

# 住宅手当緊急特別措置事業

離職者であって就労能力および就労意欲のある方のうち、住宅を失っている方または失うおそれのある方を対象に、原則六カ月間(最長九カ月間)、賃貸住宅等の家賃として住宅手当を支給するとともに、再就職に向けた支援を行っています。

## 住宅手当の支給対象者

- 申請時に次の①から⑦の要件に該当する方が対象となります。
- ①平成十九年十月一日以降に離職したこと
  - ②離職前に、自らの労働により賃金を得て主として世帯の生計を維持していたこと(離婚等により、申請時に主たる生計維持者となつた方も対象となります)
  - ③就労能力および常用就職の意欲があり、公共職業安定所へ求職申し込みを行うことまたは現に行っていること
  - ④住宅を喪失していることまたは喪失するおそれのあること
  - ⑤申請を行った月における申請者および申請者と生計を同一とする同居の親族の収入の合計額が以下の金額であること(離職等により申請日の属する月の翌月から以下の金額に該当することが明らかなる方も対象となります)

区分	金額(月收入) ※税引き前の総支給額
単身世帯	114,800円以下 ※那覇市116,000円以下
2人世帯	172,000円以下
3人以上世帯	212,000円以下 ※那覇市213,800円以下

※ただし、家賃額により収入要件が異なる場合があります。

区分	支給額
単身世帯	月収8.4万円以下…30,800円以内 (那覇市は32,000円以内)
	月収8.4万円超…以下算定式 30,800(※) - (月収 - 84,000) ※那覇市は32,000で計算
2人世帯	40,000円以内(那覇市は41,800円以内)
3人以上世帯	月収17.2万円以下…40,000円以内 (那覇市は41,800円以内)
	月収17.2万円超…以下算定式 40,000(※) - (月収 - 172,000) ※那覇市は41,800円で計算

※収入額や家賃額により支給額が異なります。

## 支給方法

福祉事務所(または福祉保健所)から住宅の貸主または不動産管理会社の口座に直接振り込まれます。

## 住宅手当受給中の義務

- ①毎月一回以上、公共職業安定所へ出向いて職業相談を受けること
- ②毎月二回以上、各福祉事務所の支援員等による面接等の支援を受けること
- ③原則週一回以上、求人先へ応募を行うか、または求人先の面接を受けること

## 住宅手当の支給期間

住宅手当の支給期間は原則六カ月間ですが、次の要件を満たした場合、支給期間を三カ月間延長することが可能です。

- (要件)
- ・手当受給中に誠実な就職活動を行っていること
  - ・世帯の収入・預貯金が一定額以下であること

## 申請方法

住宅手当の申請は、お住まいの地域を担当する福祉事務所または福祉保健所で受け付けます。詳しい申請方法は、下記窓口までお問い合わせください。



沖縄県		各市福祉事務所			
福祉・援護課	098-866-2177	名護市 社会福祉課	0980-53-1212	豊見城市 社会福祉課	098-850-0141
北部福祉保健所	0980-52-0051	うるま市 生活福祉課	098-973-4982	糸満市 社会福祉課	098-840-8130
中部福祉保健所	098-938-9886	沖縄市 福祉総務課	098-939-1212	南城市 社会福祉課	098-946-8996
南部福祉保健所	098-889-6364	宜野湾市 保護課	098-893-4411	宮古島市 生活福祉課	0980-73-1962
宮古福祉保健所	0980-72-3771	那覇市 福祉政策課	098-862-9002	石垣市 福祉総務課	0980-82-5045
八重山福祉保健所	0980-82-2330	浦添市 福祉課	098-876-1234		

お問い合わせ

●県福祉・援護課 TEL.098-866-2177

FAX.098-866-2758

お問い合わせ

●県環境保全課 TEL.098-866-2236

FAX.098-866-2240



# 情報ひろば

2010年6月

## 6月 JUNE

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

## 7月 JULY

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

### 宝くじ文化公演

県は、宜野座村、沖縄市、財団法人自治総合センターと共催で宝くじ文化公演「オペラ」セロ弾きの「ゴージュ」を開催します。

### 日時場所問合せ

7月24日(土)午後6時半開演  
宜野座村文化センターからまんホール  
☎098-9833-2613  
7月25日(日)午後1時開演  
沖縄市小劇場あしびな  
☎098-9334-8487  
入場料 一般1,500円、高校生以下1,000円(当日券は各300円増)  
問合せ 県文化振興課  
☎098-8666-2768

### 試験

#### 地域限定通訳案内士試験

県内で外国人観光客に有償で通訳ガイドをすることが出来る地域限定通訳案内士の資格試験を行います。  
●第一次試験 8月28日(地理等試験)、29日(語学試験)

### 改正貸金業法

6月18日(金)に改正貸金業法が完全施行され、消費者金融など貸金業者からの借金のルールが変わります。  
【主な改正点】  
・個人の借入限度額は原則年収の1/3まで  
・上限金利は、年20%以下に引き下げ  
・収入のない専業主婦(夫)は、配偶者の同意が必要  
問合せ 県民生活課  
☎098-8666-2177

### 戸別所得補償モデル対策

●加入申請締切 6月30日(水)  
●提出書類 加入申請書、作付面積確認依頼書  
●提出先 市町村水稻担当課  
問合せ 県糖業農産課  
☎098-8666-2275  
沖縄総合事務局農畜産振興課  
☎098-8666-1653

## 各施設行事予定表

### 県立博物館・美術館

☆休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)  
※6月7日(月)~15日(火)は、館内消毒のため、休館となります。  
☎098-941-8200  
◆バックヤードツアー  
開催日:6月5日(土)午前11時~午後2時  
定員:先着12人(受付午前9時~)  
参加費:無料

### 博物館

◆新収蔵品展  
期間:5月14日(金)~6月6日(日)  
入場料:一般200円、高校生・大学生150円、小・中学生100円

◆文化講座「江戸女性の衣生活」  
日時:6月19日(土)午後2時~4時  
講師:長崎 巖氏(共立女子大学教授)  
定員:200人(当日先着・参加無料)

### 美術館

◆遠き道展  
期間:5月18日(火)~6月6日(日)  
入場料:一般800円、高校生・大学生500円、小・中学生300円  
※障害者手帳をお持ちの方は入場無料です。

◆美術館コレクション展  
ギャラリー1 版画:儀間比呂志展  
ギャラリー2 絵画:ガイアへの帰還  
ギャラリー3 絵画:沖縄の色彩  
期間:9月5日(日)まで  
入場料:大人300円、高校生・大学生200円、小・中学生100円  
※70歳以上と県内小中学生は無料

### 県八重山平和祈念館

☆休館日:毎週月曜日  
☎0980-88-6161  
◆「戦跡からみる八重山の戦争展」  
期間:6月1日(火)~7月4日(日)

### 募集

#### 県立芸大文化講座受講生募集

講座 バリ島のガムラン講座(初級)  
期間 6月14日~7月12日毎週月曜日(6月28日休み)午後7時~9時  
受講料 無料  
定員 20人(応募多数の場合、抽選)  
申込締切 6月9日(水)  
問合せ 県立芸大附属研究所  
☎098-882-5040

#### 平成22年国勢調査・調査員募集

●応募資格 20歳以上  
●任命期間 8月10日~11月9日  
●募集期間 4月~6月下旬  
※任命・募集期間は、市町村により異なります。  
●問合せ 市町村統計担当課  
※詳しくは、県統計課ホームページをご確認ください。

### 慰霊の日関連行事

#### 沖縄全戦没者追悼式

先の大戦で戦没された方の御霊を慰めるとともに、世界の恒久平和を願う沖縄の心を発信します。  
日時 6月23日(水)  
午前11時50分~12時40分  
場所 平和祈念公園(糸満市摩文仁)  
問合せ 県福祉・援護課  
☎098-8666-2177

#### 沖縄全戦没者追悼式前夜祭

日時 6月22日(火)午後7時~8時半  
場所 平和祈念堂(糸満市摩文仁)  
日時 6月23日(水)午前9時~11時半  
場所 糸満市役所~平和祈念公園  
沖繩平和祈念堂無料公開  
日時 6月23日(水)午前9時~午後5時  
場所 平和祈念堂(糸満市摩文仁)

ツールド・おきなわポスター募集  
迫力あるレースのイメージ、やんばるの美しい自然を楽しみながら誰でも参加できる「市民参加型サイクルスポーツ」の祭典であることをPRできる作品を募集します。  
大会テーマ 「熱帯の花となれ風となれ」  
応募締切 6月25日(金)午後5時  
問合せ NPO法人ツールド・おきなわ協会  
☎0980-54-3174

#### 「沖縄ふるさと百選」募集

農村漁村の魅力ある地域団体を認定する「沖縄ふるさと百選」への推薦を募集します。  
推薦締切 7月30日(金)  
問合せ 県村づくり計画課  
☎098-8666-2263

#### 民生委員・児童委員推薦候補者募集

主な応募要件  
①地域の実情をよく知り、地域住民が気軽に相談できる方  
②社会福祉に理解と情熱があり実際に活動できる方  
③30歳以上70歳未満の方  
問合せ 県福祉・援護課  
☎098-8666-2177

### お知らせ

●個人住民税第1期納期  
6月は個人住民税(市県民税・町県民税・村県民税)の納期です。納税通知書が届いている方で、まだ納めていない方は、6月30日(水)までに最寄りの金融機関、またはお住まいの市町村役場にて納めていただきますようお願いいたします。  
問合せ 市町村住民税担当課

### 県平和祈念資料館

6月23日(水)の「慰霊の日」は、午前9時から午後6時まで開館します(常設展示室への入場は5時半まで)。常設展示室の観覧料が無料となります。  
【沖縄戦関連ビデオ上映会】  
日時 6月23日(水)午後2時~5時  
【新収蔵品展】  
期間 6月15日(火)~7月31日(土)  
問合せ 県平和祈念資料館  
☎098-997-3844

### 児童・生徒の平和メッセージ展

開催期間 場所  
6月23日(水)~7月8日(木) 県平和祈念資料館  
7月14日(水)~28日(水) 県八重山平和祈念館  
8月9日(月)~13日(金) 県民ホール(県庁1階)  
問合せ 県平和祈念資料館  
☎098-997-3844

## 県広報課からのお知らせ

### ラジオ県民室

お昼のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。  
放送時間/毎週月曜日~金曜日  
ラジオ沖縄 (864kHz) 11:50~11:55  
RBCiラジオ (738kHz) 11:55~12:00  
FM沖縄 (87.3MHz) 12:55~13:00  
ご意見・ご提言 募集  
県政に対するご意見・ご提言をEメール、FAX、手紙などで募集しています。  
あて先 県民ご意見箱、知事へのたより  
※記入様式等は、ホームページをご覧ください。



6月 放送予定

- 5日・6日 全島緑化県民運動の推進について
- 12日・13日 難病相談・支援センターについて
- 19日・20日 沖縄県ドクターヘリについて
- 26日・27日 臓器移植法の改正について

テレビ放送時間 RBC 6:15 QAB 25:55 OTV 6:45

詳しくは沖縄県ホームページへ <http://www.pref.okinawa.jp/> トップページ▶広報・広聴について▶広報誌、テレビ番組等  
県広報課 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 kouhou@pref.okinawa.lg.jp

### 美ら島沖繩総体 2010に向けて



「美ら島沖繩総体2010」通信 ⑭  
四月二十六日(月)、美ら島沖繩総体2010の手作り記念品作成講習会が開かれました。  
この講習会は、大会に出場する選手・監督・マネージャー等に手作りの記念品を贈ろうと、高校生一人一役活動の中心となる幹事会が企画したもので、離島を含めた六地区の幹事会メンバーが参加。記念品考案者から指導を受け、製作実習に取り組みました。  
手作り記念品は、県内高校から応募のあった二十六作品の中から最優秀賞に選ばれた作品で、島ぞうりに大会シンボルマークを彫り込んだ南の島からの島ぞうり。考案者は北山高校の矢貫早弥さんと大城幸菜さんです。  
講習会に参加した生徒たちは、記念品の製作方法を各地区高校生に伝え、四万個の記念品製作に取りかかります。七月には、島ぞうりを製作した高校生達のメッセージが添えられて、大会に出場する選手・監督・マネージャー等一人ひとりに贈られます。  
6月1日(火)大会開催まで、あと57日です  
大会公式HPIはこちら <http://www-ih2010.jp>

サバニを全国に  
広めたい!



サバニ大工 大城清さん

点から線、  
線から面へと  
つないでいきたい!

広報・交渉は  
事務局に  
まかせて!



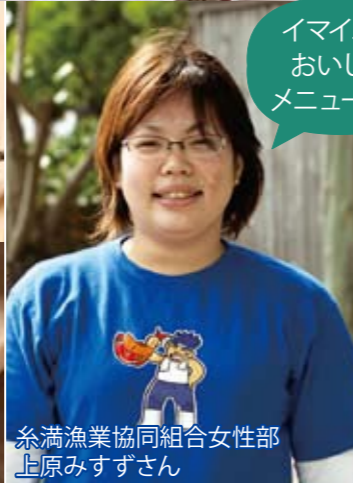
NPO法人ハマスーキ事務局長・大谷高子さん、守谷光弘さん

ハマスーキから  
“糸満の心”を  
発信します!

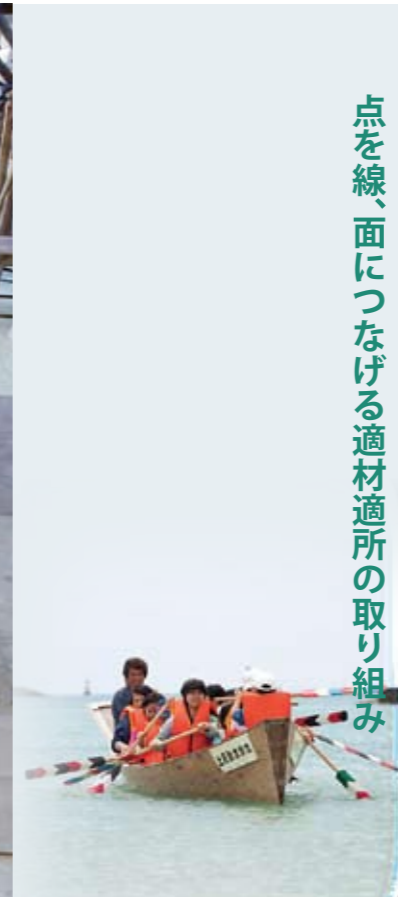


NPO法人ハマスーキ理事長  
上原謙さん

イマイユを  
おいしい  
メニューに!



糸満漁業協同組合女性部  
上原みすずさん



「糸満の海人文化を大切に継承したい」  
点を線、面につなげる適材適所の取り組み

## 糸満のまちづくり

# 人・モノ・文化 地域物語

# つながる広がる

旧暦中心のスローライフが  
息づく海人のまち

本島南部に位置する糸満市は、今でも旧正月や糸満ハーレーなど、旧暦中心の生活スタイルが根付く地域です。漁業が盛んな地域柄、「サバニ」や「ミールカガン」糸満発祥の水中メガネなど、昔ながらの漁具をはじめとした海人文化が多々あり、この文化を軸にしたまちづくりが始まっています。

今回のキーパーソンは上原謙さん（NPO法人ハマスーキ理事長）。謙さんは、二十年前に海人の道具類を集めた展示施設「海人工房」を自宅に開設。ハマスーキの会員やボランティアの協力、県と市の後押しもあり、今年四月に規模を大きくし「糸満海人工房・資料館」としてリニューアルしました。

また、「ハマスーキ（ミールカガン）の材料であるモンパの木の方言名“は、帆掛けサバニレースや南部海づくり大会での漁具展示など、幅広い活動を行っています。

一人ひとりが  
できることを持ち寄って

「昔なじみの謙さんのお手伝いを」と事務局を引き受けた大谷高子さんは、

力の消費拡大をめざし、炊き込みご飯や酢の物、ハンバーグなどセイイカづくしのメニューを考案。「最初はモニターツアーに消極的だった先輩たちが、ツアー参加者からの“おいしい”という声に反応し、やる気になってくれた」と、うれしい手応えを感じています。

ハマスーキが発信する  
糸満のこれから

みすずさんは、糸満に二人だけというアンブシ（小型定置網漁）漁師に嫁ぎ、六人の子育てをしています。「糸満のアンマーの心意気を守りながら、もっと若い組合員を増やしたい」とまの新しい魅力づくりを模索中。大城さんは、「ミールカガンやサバニを単体ではなく、旧糸満の海の文化としてつなげるべき。そうすれば、背景にある時代や先人の知恵を深く知ることができると話します。また、「地域の人・モノ・文化が交流する拠点として、ハマスーキが糸満の情報発信していきたい」と大谷さん。ハマスーキを中心に、まちづくりの大きなうねりが広がっていました。

お問い合わせ  
NPO法人ハマスーキ  
電話：098-987-1155

んは、シゴトのキャリアを生かし、企画広報や対外的な交渉、運営などを担当するほか、共に事務局を運営する守谷光弘さんと協力し、コーディネートとしての役割も担っています。

現役サバニ大工の大城清さんも「このままだと旧糸満の海の文化が消えてしまう」と危機感を感じ、ハマスーキの活動を一緒にやろうと決めました。

モニターツアーで生まれた  
新しい広がり

四月十七日にハマスーキが企画した「第一回活力ある漁村づくりモデル事業モニターツアー」には、市内外から多くの参加者が集まりました。サバニ漕ぎ体験やサバニ製作所の見学後、ミールカガンの製作実演、糸満海人や伝説追い込み網漁の歴史解説を楽しみ、最後に地元の新鮮な魚介類を使った昼食を味わう内容盛りだくさんのツアーです。

「今まで、個々に存在していた糸満文化を“線”としてつなぐのがハマスーキの役割。今回のツアーでそれがさらに広がりました」と話す大谷さん。謙さんも「糸満には魅力ある素材がたくさんある。それを紹介することで、多くの人に足を運んでもらいたい」と、次回のツアーに向け意欲的です。

ツアーの昼食・おやつを提供した漁協女性部の上原みすずさんは、セイイ

## 編集後記

先日、母の73歳の生年祝いをしました。思い出のアルバムやバースデーケーキのケーキカットもあれば、余興には親戚の琉舞や三味線、兄弟・孫の創作ダンスとまるで結婚式のよう。母は終始大笑いし、とてもうれしそう。いつまでも元気な母でいて欲しいものです。(momo)

5月号から配布場所も増え、より多くの県民のみなさまに「美ら島沖縄」を手にとっていただけるようになったと思うのですが、いかがでしょうか？それでも入手できなかった方は、県広報課のホームページへアクセスを。バックナンバーもご覧いただけます。(ゴロンゴロン)

沖縄県広報誌  
平成22年6月1日発行第34巻6号通巻417号

## 美ら島沖縄

●表紙 写真・島袋常貴  
●表紙 撮影協力・NPO法人おきなわ環境クラブ

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課  
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2  
TEL.098-866-2020

## アンケート

「美ら島沖縄」の感想をお聞かせください。

パソコンはこちら  
<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>



美ら島沖縄総体 2010

開催期間 平成22年7月28日～8月20日



美ら島沖縄総体 2010

開催期間 平成22年7月28日～8月20日